

提供日 2025/2/21 14時

タイトル 科学雑誌『Annals of the Rheumatic Diseases』に
寺尾知可史免疫研究部長らの研究論文が掲載されます。

担当 県立総合病院 総務課

連絡先 県立総合病院 総務課

TEL 054-247-6111 (代)



～ともしつくる信頼と安心の医療～

科学雑誌『Annals of the Rheumatic Diseases』に
寺尾知可史免疫研究部長らの研究論文が掲載されます。

1 要旨

静岡県立総合病院の寺尾免疫研究部長（理化学研究所生命医科学研究センター ゲノム解析応用研究チーム チームリーダー、静岡県立大学特任教授）らの研究論文が科学雑誌『Annals of the Rheumatic Diseases』オンライン版（日本時間2月23日）に掲載されます。報道解禁日：2月23日

2 研究タイトル

Mosaic loss of chromosome Y characterises late-onset rheumatoid arthritis and contrasting associations of polygenic risk score based on age at onset

3 研究概要

今回、共同研究グループは、全身性自己免疫疾患である関節リウマチの末梢血 DNA から後天的な DNA 変異である体細胞モザイクを同定し、体細胞モザイクが高齢発症関節リウマチのリスク因子となることを発見しました。高齢発症関節リウマチは、高齢化に伴い増加していますが、詳細な発症要因は分かっていません。

Y 染色体喪失モザイクが遺伝的要因と相互作用する、高齢発症関節リウマチの後天的なリスク因子として同定され、若年発症関節リウマチとの明確な差異を明らかにしたことが、本研究における最も大きな成果であるとともに、今後の関節リウマチ（特に高齢発症関節リウマチ）の病態や免疫老化の機序の解明の研究につながる発見であるといえます。

また、高齢発症関節リウマチは男性の罹患が多いことは、Y 染色体喪失モザイクが男性のみに認める体細胞モザイクであることで部分的には説明できる可能性があり、Y 染色体喪失モザイクが関節リウマチの性差の解明に貢献することが期待されます。

4 その他

理化学研究所、静岡県公立大学法人静岡県立大学から共同リリースしております。詳細は添付資料ご参照ください。

(問合先) 静岡県立総合病院 総務課 静岡市葵区北安東 4-27-1 電話:054-247-6111 (代)